

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月17日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103177		
法人名	株式会社 モロコケア		
事業所名	グループホーム ジャンけんぼん		
所在地	松山市古川北3丁目12番29号		(電話) 089-969-0777
管理者	今村 タマキ		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年7月22日	評価確定日	平成20年9月17日

【情報提供票より】 平成20年5月31日事業所記入

(1)組織概要			
開設年月日	平成15年4月1日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	23人	常勤	19人, 非常勤 4人, 常勤換算 21.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3)利用者の概要 (平成20年5月31日現在)			
利用者人数	27 名	男性 7 名	女性 20 名
要介護1	2 名	要介護2	5 名
要介護3	8 名	要介護4	4 名
要介護5	8 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85.6 歳	最低 67 歳	最高 100 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>中庭には多くの草花が植えられ、共用空間は観葉植物や絵画が飾られていた。利用者の希望を聞いてメニューを決めておられる。代表者が釣った新鮮な魚が食卓に上ることもある。調査訪問時、職員は、ゆっくりと利用者のペースに合わせて食事介助をされていた。近くの保育園までお散歩されたり、アイスクリームを買いにスーパーマーケットに出かけることもある。職員は、最近受講した外部研修で「利用者のできることを見極め支援し、ご本人に自信を持ってもらうことの大切さ」を学ばれた。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・管理者が代わり、3ヶ月が経ち、管理者は、自己評価に取り組み、日常業務等のマニュアル整備の必要性等を感じておられた。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・すべての職員で自己評価に取り組みました。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・会議では外部の講師をお招きして「感染症対策」について等お話をいただいた。現在、会議を開催されているが、地域の方の参加や意見等は少なめである。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・ご家族からの意見や要望事項は、事業所のサービスの改善のため前向きに捉え、施設長・各ユニットの責任者で話し合われている。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・事業所の夏祭りに近所の方を招待し、一緒に楽しまれた。それらをきっかけに顔馴染みになり、外の掃除時や散歩の際にはあいさつを交わしたり、声をかけていただけるようになった。</p>

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームじゃんけんぼん

(ユニット名) グーユニット

記入者(管理者)

氏名 今村 タマキ

評価完了日

平成 20年 6月 28日

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			施設理念は作られ、ユニット内に掲示、会議等において職員共有について指導が行われている。		
			(外部評価)		
			「地域との交流を通じて、利用者の明るく楽しい生活を支援する」という事業所の基本方針に沿って、理念が作られている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			管理者が、ほぼ毎日施設を巡回し、職員に対して理念の共有に対して注意を促している。		
			(外部評価)		
			居間に事業所の理念を掲示されている。		事業所では今後、ユニット会等の職員が集まる機会に、基本方針や理念について話し合いを行う予定となっている。さらに、職員が一丸となってケアを実践するためにも、「事業所の目指すこと」を共有する仕組み作りが期待される。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			理念を施設の見やすいところに明示、必要に応じて家族や地域の人々に説明している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 朝の清掃時など、近所の方、犬の散歩の方、通学中の児童・生徒へ明るく挨拶し、気楽に立ち寄ってもらえるイメージを持ってもらっている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 夏祭りの行事へ地域の方の参加を呼びかけるなどを行っている。  (外部評価) 事業所の夏祭りに近所の方を招待し、一緒に楽しまれた。それらをきっかけに顔馴染みになり、外の掃除時や散歩の際にはあいさつを交わしたり、声をかけていただけようになった。		今後は、地域の催しにも積極的に参加し、さらに交流を広げていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 施設内の仕事で手いっぱいであり、取り組んでいるとは言えない		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価内容をユニットのミーティング等で公表し、良い方向へ改善しようと努力している。  (外部評価) すべての職員で自己評価に取り組みされた。管理者が代わり、3ヶ月が経ち、管理者は、自己評価に取り組み、日常業務等のマニュアル整備の必要性等を感じておられた。		今後、評価結果や家族アンケートの集計結果等を、貴事業所のサービスの質の向上につなげていけるような取り組みが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			会議で出された意見について、ユニット職員間でも話し合いを行いサービス向上に繋げている。		
			(外部評価)		
			会議では、外部の講師をお招きして感染症等についてお話をいただき、その後の会議で事業所での感染症対策を報告された。現在、会議を開催されているが、地域の方の参加や意見等は少なめである。		さらに、地域の方にも出席いただけるような働きかけの工夫や会議の進め方等についても検討を重ねていられることが期待される。いろいろな立場の方からの意見を引き出せるような会議のすすめ方についても工夫を重ねてみてほしい。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			職員については、連携についての認識が低く、不足していると思われる。		
			(外部評価)		
			市の高齢福祉課とは連絡を取り、運営上の課題など相談に乗ってもらっている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			職員については、制度名称は知っているが、内容については理解できていない。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			安全への配慮が生きすぎとにならないように努めている。職員はニュース等に敏感に反応し、意見交換している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約については、管理者及びケアマネが利用者・家族に内容を説明、理解を得ている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の様子に気をつけ、話がしやすい雰囲気を作り、意見を聞きだしている、改善等行えるものについては、すぐに実行している。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会に来られた時に口頭でお話している。金銭については小遣帳にて管理、明細についてはご家族に送付している。		
			(外部評価) 2か月に1回、行事の様子の写真を載せた「たより」をご家族に送付されている。来訪の難しいご家族には、お手紙でご本人の様子を報告されている。		さらに、事業所での利用者の生活ぶりがよくわかるような「たより」等についても、工夫を重ねていかれることが期待される。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時等で意見などを伺った場合、管理者に報告し、ユニット職員と話し合い、結果については、全職員に伝達することとなっている。		
			(外部評価) ご家族からの意見や要望事項は、事業所のサービスの改善のため前向きに捉え、施設長・各ユニットの責任者で話し合われている。		又、家族会で認知症の勉強会を行うこと等も検討されている。ご家族も事業所の取り組みにかかわる機会作り等も期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)  改まった機会はないが、職員個々が管理者に相談することで、意見を述べている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)  職員の数に余裕がないため。出来る範囲の調整をユニットにおいて実施。なお調整が付かない場合は、他のユニットとの交渉も実施している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)  出来る限り利用者に配慮し、介護支援に支障が発生しないようにしている。		
			(外部評価)  3か月前に管理者が交代されている。職員がユニット間で異動する場合は、利用者に会いに行かれることもある。		さらに、職員が代わることでの利用者へのダメージについて話し合われてみてほしい。職員の離職等を防止するような策についても、工夫と検討を重ねていかれることが期待される。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)  職員を勤務経験等によって随時研修等に参加するシステムになっている。		もう少し研修の機会を増やして欲しい。
			(外部評価)  研修の案内を職員が目にしやすい場所に掲示し、参加者を募っておられる。職員は、最近受講した外部研修で「利用者のできることを見極め支援し、ご本人に自信を持ってもらうことの大切さ」を学ばれた。		今後は、さらなる職員の知識等の向上を目指して、内部の勉強会も充実させたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)			
			交流は無い。			交流の機会を作るようにしたい。
			(外部評価)			
			研修時には、他事業所の職員とともに学ばれている		研修時に知り合いとなった他事業所との交流を、すすめていく予定となっている。さらに、貴事業所のサービスの質の向上に向けて、交流を広げていかれることが期待される。	
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)			
			出来ていない。			休憩場所が無い。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)			
			出来ているとは思えない			運営者はもう少し職員の勤務状況の把握をして欲しい。
<p><b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>						
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)			
			受け止めることが出来ることは努力して良くして行く。			



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 地域・家族が集まって懇談会を開いているので、求めるものがあれば、聞く子とも出来るし、それなりに努力している。面会時にも、家族との話も積極的にしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受け入れ、その時その時に対応している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人に納得してもらい、理解しにくい人には、家族とそうだんのもとサービスを開始している。  (外部評価) ご家族と面談し、ご本人の状態や要望等について、ゆっくりお聞きし、事業所を見学してもらっている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の昔の話を聞いたり、一緒に歌を唄ったりして交流を深め、お互いに和みを感じる雰囲気作りを行っている。  (外部評価) 職員は、利用者から励まされたり、料理や味付けのアドバイスをもらうこともある。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)  関係構築のため努力している。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価)  いつでも面会に来れ、相談等も受け入れるようにしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価)  毎年の同窓会を楽しみにしている利用者があるので、いつまでも元気でいられるようリハビリを継続している。		毎日ユニット内を散歩している。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価)  利用者同士のつながり強化のために職員として橋渡しの役割を努力は行っているが、難しい状況。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価)		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			利用者の希望・意向は日常の会話等から収集し、職員間の情報伝達で理解、日々努力しているが、現状ではすべての希望に応えることは難しい。		
			(外部評価)		
			職員は、日頃から利用者の話をよく聞き、具体的な選択肢を挙げて、希望や意向の把握に努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			アセスメントの内容の伝達により、生活環境等については把握できていると思う。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			ケアプランに沿って一人一人のケアを通じて把握するように努めている。日々の日誌の内容把握も行っている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			月に1～2会のミーティングを開き、意見交換等を行い対応策を出し合っている。日々の申し送り時に課題があれば話し合い、意見交換等により解決策を出している。		
			(外部評価)		
			職員は、ミーティング時に利用者個々について意見交換を行い、介護計画を作成しておられる。		さらに、「ご本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成」という点からも、ご本人・ご家族の意見や希望を十分に採り入れた計画を作成できるよう、工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
				3ヶ月に1度、ケアプランを立て、利用家族の方にみていただく。	
			(外部評価)		
			介護計画の内容について、支援できているか毎日チェックする表を付けておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
				日誌に日々の様子・活動をこじんべつに記載、引継ぎや個人介護時に記載内容を再チェックして注意をしながら、介護に当たっている。	
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
				わかりません	
			(外部評価)		
			利用者それぞれのかかりつけ医の受診の送迎、デイサービスのレクリエーションへも希望に沿って、参加できるようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 学生のボランティアの受け入れ・お琴演奏会の月1回実施・緊急時の連絡体制の把握など。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じて話し合い支援している程度。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 利用希望者の情報提供や収集のため情報交換を行っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 利用者には、それぞれかかりつけ医あり、緊急連絡対応等も把握している。  (外部評価) 協力医は24時間、対応可能となっている。病院受診時には、職員が同行し、医師とお話をされている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 常に専門医と相談し、対応を実施、必ず職員立会いの下、利用者情報を聞き取っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 病状によって、看護師及び訪問看護師に利用者状況を説明、医療のアドバイスを受け、介護支援にあたっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院・退院時、職員、看護師が付き添い、病院よりの情報収集による適切なケアに取り組んでいる。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 利用者家族と連絡を取り、状況説明による今後の終末期への方針を決めている。		
			(外部評価) 看取りについて利用者、ご家族の意向や希望をお聞きし、利用開始時に確認されている。		さらに、職員も一丸となって取り組むためにも、重度化や終末期の支援について、勉強を重ねる機会作りが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 緊急連絡先を把握し、状況に応じた処置対応を行っている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者家族との十分な話し合いによる利用者に合った介護支援実施の為の説明を行うなど、事前の話し合いを密にしてよりよい生活環境による穏やかな日常生活が送れる住み替え支援をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>					
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個人の尊厳に注意し、相手の目線で話をするなど、また、個人記録等については保管場所に注意を払っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者の個人の尊厳やプライバシーについて「権利擁護の行動指針」を作成し、職員に順守するよう指導されている。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者、利用者家族の方と話し合いを行い、希望が叶うようにしている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者のペースに合わせて、過ごしやすい環境を作れるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ゆっくり食事をされる方にも焦らすことなく、利用者のペースに合わせて、ゆっくり支援されていた。食後も居室で休む方、テーブルで会話を楽しむ方等、思い思いに過ごされていた。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 月1回は利美容者が施設に訪問して個人希望通りの理髪等を行ってもらっている。時には、口紅やマニキュアなども付けて楽しんでいる。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者に食事の準備ができる人はいない。片付けについては職員と一緒に実施している。 (外部評価) 利用者の希望を聞いてメニューを決めておられる。代表者が釣った新鮮な魚が食卓に上ることもある。調査訪問時、職員は、ゆっくりと利用者のペースに合わせて食事介助をされていた。		食事の準備については、材料の調達等を職員と動向するなど活動範囲を広げてみたい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 一人一人の嗜好に合わせて毎日楽しめている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個人のパターンを把握、適切な対応支援を行っている。		排泄の出来ない人には、時間を決めてトイレ誘導をおこない、トイレにて出来るよう取り組んでいる。



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			職員の人数により、時間や曜日を決めて入浴しているが、入浴中は利用者が楽しめるよう希望によって自分の好みの入浴剤を入れるようにしている。		毎日を希望する人もいるが、現状では希望に添えない状態ですが、出来る限り希望に近づけるよう取り組みたい。
			(外部評価)		
			入浴剤を使用されることもある。足浴等も支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			個室・中庭・リビングスペースで利用者が安心して休息できるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			利用者高齢のため、役割等は決めず、その時の気分によって出来ることをしてもらっている。居室にこもりきりにならないようリビング・中庭等いつでも使用できるようにしている。		
			(外部評価)		
			トランプや詩吟を楽しむこともある。居室で携帯電話を利用している方もおられた。		利用者個々の生活歴等も踏まえ、できること・できそうなこと・興味のあることの把握に努め、ご本人の喜びや楽しみの支援を工夫していかれてほしい。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			金銭管理が出来る方には、買物や外出時には、本人に支払いをしていただくなどしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			すべての利用者に対応することはできていない。		散歩等の支援可能者については引き続き支援を継続する。また、それ以外の人についても、考慮対応する。
			(外部評価)		
			近くの保育園までお散歩されたり、アイスクリームを買いにスーパーマーケットに出かけることもある。		職員で協力し合って、利用者が外出できるような機会は作れないだろうか。又、管理者は、ご家族やボランティア等の協力者も増やしたいと考えておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			一人一人が行きたい場所には、人員の関係から難しいですが、季節折々は出かけている		月一回は利用者の外出希望に添うような場所に行けるよう計画、取り組んでいきたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望時いつでも対応できている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも訪問できるように玄関開放、自由に出入できる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  身体拘束しないケアは、職員把握はできている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  居室カギなし、玄関は日中開放している。  (外部評価)  玄関、ユニットの入口に鍵をかけていない。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  利用者プライバシーに配慮しながら状態を把握し安全を確認している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  個人の対応能力の状態に応じた物品の取扱いを実施、危険物については施錠管理している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  現在事故防止のための具体的取組を順次行っている		全職員理解の体制作りを行っている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 一部職員しか対応出来ないため看護師への連絡・相談による対応を行っている。		全職員に対し、対応訓練を実施して欲しい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) ホーム内での避難方法等は身に付けている。 (外部評価) 新しく「防災マニュアル」を作成された。		地域との協力体制作りをすすめていかれてほしい。いざという時に駆けつけいてくれる協力者を増やしていかれることが期待される。又、いろいろな場面を想定しての訓練を重ねていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 起こりえるリスクを説明し、対策を話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 利用者の日々の体調変化の早期発見に努め、看護師等への報告・連絡・相談を心がけて対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)  ある程度理解し支援もできる。薬の取扱時、説明が期を見て確認している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価)  水分補給に努め、便秘予防に取り組むと共に、2日以上出ない場合は、看護師等に相談して対応している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価)  食後利用者全員口腔ケアを実施している。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)  週毎に献立が決められ、日誌には、食事量・水分摂取量を記入、利用者個人の栄養管理等に注意を払っている。  (外部評価)  献立作成時には、栄養バランスの他に汁物、デザート等、水分の確保についても考慮されている。目盛付きのペットボトルで一人ひとりの水分摂取量を知り、記録されている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価)  インフルエンザ等の予防接種は出来ている。疥癬時は、他の利用者への感染を防ぐ為、手洗い・消毒等に努めている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>冷蔵庫の食品等の賞味期限のチェック、食材の出来るだけ加熱対応など、また、とようり器具のハイター消毒による衛生管理に努めている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関のカギの開放、利用者家族の出入しやすい対応を心がけている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>花壇の整備・清掃の徹底・心地よい風の流れ、中庭の開放などに配慮して、少しでも医湖心地の良い空間作りに工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>中庭には多くの草花が植えられ、共用空間は観葉植物や絵画が飾られていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の利用者状況により好きなスペースでの過ごし方を考慮している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			タンスや食器類など、本人の使い慣れた物を使用している。		
			(外部評価)		
		居室に、ご家族やペットの写真を飾り、テレビや冷蔵庫、仏壇を持ちこまれている方もあった。			
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			毎朝空気入れかえを行い、必要時にはエアコン等を使い、利用者への配慮を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下には、障害物を置かず、安全に歩行できるよう配慮している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			利用者の話をよく聞き、出来る力の活用に心がけて支援している。但し、一年ごとに対応レベルが低下する中、個人能力の過信利用者に対する介護支援に注意した対応を行っている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			花壇があり、利用者が楽しめるようになっている。天気の良い日は時折、おやつを中庭のテラスでする。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいの	利用者の思い等は聞き入れることは出来ているが、願いを叶えてあげることが出来ない。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある	10時と15時におやつを取っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が	各利用者の居室にて過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ④ ほとんどいない	職員の人数の関係で、一人一人の行きたいところには行けない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが	食事に関しては、一週間の献立があるが、看護師が常時いないため、不安面もある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが	利用者の要望に対してすべては支援できていない。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ① ほぼ全ての家族と	来所した時にお話を常に聞いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ④ ほとんどない	地域の人々が訪ねてくることが無い。



項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ③あまり増えていない 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 4 全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ③職員の1/3くらいが 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 4 ほとんどいない	何かと色々不満を持っている、例えば、休憩がなかなか取ることが出来ず、ストレスに感ずる時もある。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 4 ほとんどいない	外出の機会が減った。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ②家族等の2/3くらいが 1 ほぼ全ての家族等が 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

快適に過ごせるように取り組んでいる。家庭的に過ごせるように、スタッフ一丸となり頑張っていると思う。